

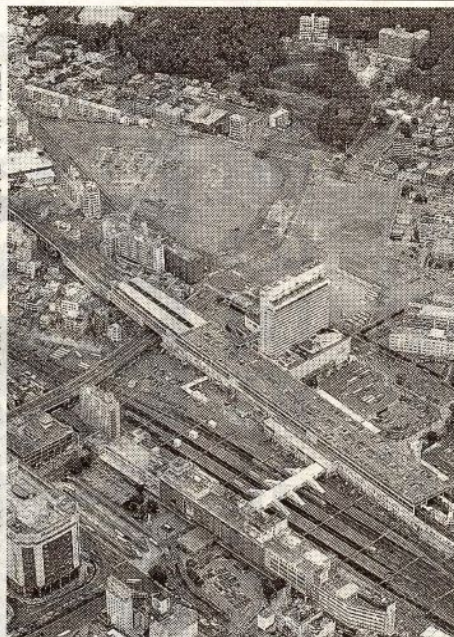
(第三種郵便物認可)

広島駅北に放射線治療施設

14年度開設へ本格始動

がんを切らずに治す「高精度放射線治療センター」を広島市東区二葉の里地区に建設する計画が2010年、本格的に動きだす。市内4基幹病院が共同で運営法人を設置し、専門医を集約化する。JR広島駅の北に隣接する利便性から、中四国地方の放射線治療の拠点として期待される。

(藤村潤平)



高精度放射線治療センターの建設が予定される広島市東区二葉の里地区の遊休国有地。手前はJR広島駅

4基幹病院協議 専門医を集約

広島大病院(南区)▽県立広島病院(同)▽広島市民病院(中区)▽広島赤十字・原爆病院(同)が参加する。10年から協議に入り、14年度開設を目指す。複合的な治療が必要な患者向けに一部の機能は各病院に残す。総事業費は約26億7千万円。うち約15億8千万円は国の地域医療再生基金を活用し、残りを県と広島市、4病院などが負担する。遊休国有地約6万8千平方メートルのうち約3600平方メートルを取得する。設備の中核に、複数の放射線を当てて治療

事故の影響で渋滞する福山市本郷町付近の山陽道上り線(手前が尾道市方)

効果を上げる高精度リニアック(直線加速器装置)を3台導入する。装置は1台5億円前後と高価で、的確な照射には医学物理士などが要するため、複数台を運用する病院は中四国地方になかった。機能が集中するセンターができれば症例数が増え、専門医の育成にもつながる。県健康福祉局の佐々木昌弘局長は「病床数などで県内トップ4の病院が連携する意義は大きい。集約化の第一歩にした」と意気込む。

「公設派遣村」に2009年 東京都 宿泊さらに2

年末年始に住む場所がない失業者らを受け入れた東京都渋谷区の越年施設「国立オリンピック記念青少年総合センター」(公設派遣村)は3日、入所者が833人になった。都は3日夜、入所期限の4日午前以降の対応策として、入所者の約95%に当たる約800人が再開する4日から

都によると、利用者に聞き取り調査をした結果、自力で住まいを確保できる人は約5%にとどまった。ほかの利用者には役所が再開する4日から